



学校だより
ウルムス
～友達を思いやり、友達とひびき合う心～

令和 4年 1月 7日
横浜市立釜利谷南小学校

1月号

学校ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kamariyaminami/>
代表メールアドレス ky-e-kamariyaminami@city.yokohama.jp

校長 田中 さくら

迎春 寅年 2022年 今年もよろしくお願ひいたします。

2週間の冬休みが明け、オミクロン株の感染急増など、コロナ禍は続いておりますが、令和3年度の後期後半がスタートしました。今年の干支は「寅」です。ニュースで、日本では寅年生まれで一番人数が多いのは72歳になられる方々、次は48歳になられる方、そして一番少ないのは12歳になる小学生だそうです。



学校では、5年生の大部分と6年生の早生まれのお子さんが年女・年男に当たります。寅（虎）は十二支の中で強くたくましい動物です。前向きでチャレンジ精神が強くどんなことにも強い信念をもって挑んでいく傾向があり、たとえ失敗したとしてもめげずに何度でも立ち向かっていけるようです。また周囲を楽しませることを得意とする一面ももち、自身の気分に影響されることなくその場を盛り上げられるため、多くの人に好意をもたれやすいようです。その行動力の高さとサービス精神旺盛な性格から、まわりの人をまとめるリーダーに適しています。負けず嫌いで強情という面もありますが、特にコロナ禍では、頼もしい限りです。子どもたちを見守っていても思い当たる所が多くあります。これから釜利谷南小学校のリーダーとして活躍して行ってほしいと期待しています。

《充実した先月12月を活かして》

12月3日には、パラ馬術の稲葉将選手が2回目の来校で「将選手、おめでとう！お帰りなさい集会」を行いました。パラリンピックの報告や裏話等子どもたちも関心をもって真剣に聞きました。質問コーナーの「将選手のルーティーンは何ですか？」に対し、「ルーティーンはありません！いつでもすぐに試合に出られるようにしています。」との答えでした。あとで校長室で詳しく聞くと、「たくさんの練習を積んできたことに自信をもち、失敗しても馬や何かのせいにならず、言い訳したくないから、ルーティーンはなく、いつでも出られるようにしている。」とのことで感心しました。そして言い訳の多くなった私自身を反省しました。

12月中旬には、個人面談に寒い中にもかかわらず保護者の皆様に来校いただきありがとうございました。学校での学習や生活の様子などを担任からお伝えし、保護者の皆様からもお子さんのご家庭での様子もお聞きでき、各担任にとっても充実した有意義な時間となりました。これからの学校生活で、子どもたちが更に個性を伸ばし、進級へのステップアップに繋がるよういただいた情報を活かしていきたいと思っております。

また12月は、春から2回も延期していた4・5・6年生の宿泊体験学習を実施することができました。

12月6・7日は、6年生が日光修学旅行に行きまして。欠席者なし、転校してしまった友達とも輪王寺で再会でき、卒業前のすばらしい思い出を作ることができました。戦場ヶ原のハイキングの代わりに日光江戸村に行き、グループ活動でいろいろな体験をして、仲間との絆を深めることができました。

冬休み間近の12月22・23日には、4年生5年生が愛川ふれあいの村に行きました。心配された寒さもほとんど感じない暖かな晴天のもと、ウォークラリーや藍染め体験、ディスクゴルフやキャンプファイヤー等、最終日には、4年生と5年生が力を合わせて野外炊事を実施し、全てのプログラムを実施でき、大成功でした。この経験が来年度の活動へ繋げる自信となりました。

来月2月上旬には、金沢公会堂でのスタディフェスタを計画しています。今後もコロナ禍ではありますが、感染予防の対策をしっかりと講じて、子どもたちの学びをそれを発表する場を作りたいと考えております。どうぞ本年も保護者の皆様、地域の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。